

千葉県高齢者保健福祉計画（令和6年度～8年度）事業進捗管理表【認知症施策関係】

資料1-4

掲載箇所	取組	担当課	(班)	事業内容	指標	現状値 (R5年度末)	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R6年度 目標値	令和6年度 当初予算額 (千円)	令和6年度 事業の実施予定	令和6年度 決算額 (千円)	R6年度 の状況 (現状値)	R6年度の 実施結果	R6年度 達成状況に関する 評価	令和6年度 ※C～E評価の場合、目標達 成に至らなかった理由
33	II-3-①	認知症サポーターの養成・活躍	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症に対する正しい理解を深め、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者となる認知症サポーターを市町村と連携して養成します。また、養成したサポーターが地域で具体的な取り組みが行えるように支援をします。	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）※養成講座は県及び市町村で実施したもので、キャラバン・メイト連絡協議会が集計公表した数	648,413人	673,000人	713,000人	753,000人	673,000人	583	334	688,961人	千葉県職員・千葉県生涯大学校の生徒を対象に認知症サポーター養成講座を実施。また、各市町村においても講座を実施していく。	A	
34	II-3-①	認知症の職域サポーターの養成	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症の人と関わる機会が多いことが想定される職域をはじめ、小売業や金融機関等において認知症の人を手助けする認知症サポーターの養成講座の開催や地域で見守る体制づくりを促進します。職域向けの認知症サポーター養成講座を開催する市町村に、オレンジリングを配付します。	企業の認知症サポーター養成講座受講者数（累計）※キャラバン・メイト連絡協議会が集計公表した数	102,217人	108,200人	113,200人	118,200人	108,200人	583	334	106,076人	企業向け講座受講者に、オレンジリングを配付	B	
35	II-3-①	チームオレンジの実施促進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人等の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組みを構築するため、先進的事例の紹介やチームオレンジ整備に向けた各研修等を行い、実施促進に向け、市町村を支援します。	①市町村数 ②チーム数	①22市町村 ②94チーム	①32市町村 ②100チーム	①43市町村 ②120チーム	①54市町村 ②140チーム	①32市町村 ②100チーム	576	275	①31市町村 ②120チーム	市町村の先進事例の報告会1回、ステップアップ指導者養成研修1回、チーム・オレンジコーディネーター研修1回開催予定。	A	
36	II-3-①	認知症子どもサポーターの養成	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症に対する子どもたちの理解を深め、認知症の人やその家族に温かい目を注げるよう、小学生や中学生を対象とした認知症サポーター養成講座の開催を促進するとともに、講師のスキルアップ研修を実施します。	小学校での講座開催市町村数	42市町村	46市町村	50市町村	54市町村	46市町村	1,051	635	40市町村	周知・啓発用リーフレットを交付。小学校756校、中学校387校に送付。講師役に対する研修を3回実施。	B	
						中学校での講座開催市町村数	27市町村	37市町村	45市町村	54市町村	37市町村						
37	II-3-①	キャラバン・メイトの養成	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症サポーターを養成する講師役であり、認知症の人やその家族を地域で支えるリーダーとしての役割も期待されているキャラバン・メイトを養成します。	キャラバン・メイト登録者数（累計）※キャラバン・メイト連絡協議会が集計公表した数	5,005人	5,200人	5,380人	5,560人	5,200人	583	334	5,205人	キャラバン・メイト養成研修を7月・9月・12月の3回実施	A	
38	II-3-①	認知症メモリーウォーク等の支援	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症の人やその家族が安心して暮らし続けられるよう、県民や保健・医療・福祉の従事者等と連携して行う認知症メモリーウォーク（街頭パレード、普及啓発物資の配布など）が県内に広がるよう開催を支援し、認知症の正しい理解の普及啓発を図ります。	参加者数	220人	370人	470人	570人	370人	360	203	300人	印西市、富津市、習志野市、木更津市で実施	B	
39	II-3-①	日常生活自立支援事業の推進	健康福祉指導課	自立支援班	判断能力が一定程度あるものの十分でない高齢者などが、地域で自立した生活を送れるよう、市町村社会福祉協議会が行う福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理等の支援を行う日常生活自立支援事業を推進します。	日常生活自立支援事業利用者数	1,805	1,752人	1,832人	1,912人	1,752人	218,606	218,606	1877	県社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業に係る経費に対し補助を行った。	A	
40	II-3-①	成年後見制度の推進	健康福祉指導課	自立支援班	市町村における体制整備をはじめとした取組が進むよう、市町村職員などを対象とした地域連携ネットワーク及び中核機関の設置を促進するための研修会や成年後見制度利用促進のための会議を開催します。また、これらの研修会や会議を通して体制整備の検討を始めた市町村に対し、必要な助言等を行うため、アドバイザーを派遣します。	成年後見制度利用促進基本計画を策定した市町村数	26	32市町村	43市町村	54市町村	32市町村	3,556	3,556	36市町村	成年後見制度の利用促進を図るため、これまで実施してきた研修会や講習会を引き続き開催するとともに、制度利用や体制整備の促進等を目的とした関係機関による会議の開催や、市町村等における体制整備を図るためのアドバイザーの派遣を行う。	A	

千葉県高齢者保健福祉計画（令和6年度～8年度）事業進捗管理表【認知症施策関係】

資料1-4

掲載箇所	取組	担当課	(班)	事業内容	指標	現状値 (R5年度末)	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R6年度 目標値	令和6年度 当初予算額 (千円)	令和6年度 事業の実施予定	令和6年度 決算額 (千円)	R6年度 の状況 (現状値)	R6年度の 実施結果	R6年度 達成状況に関する 評価	令和6年度 ※C～E評価の場合、目標達成に 至らなかった理由
41	II-3-①	健康福祉指導課	自立支援班	市町村における体制整備をはじめとした取組が進むよう、市町村職員などを対象とした地域連携ネットワーク及び中核機関の設置を促進するための研修会や成年後見制度利用促進のための会議を開催します。 また、これらの研修会や会議を通して体制整備の検討を始めた市町村に対し、必要な助言等を行うため、アドバイザーを派遣します。	中核機関整備市町村数	20	54市町村	54市町村	54市町村	54市町村	3,556	成年後見制度の利用促進を図るため、これまで実施してきた研修会や講習会を引き続き開催するとともに、制度利用や体制整備の促進等を目的とした関係機関による会議の開催や、市町村等における体制整備を図るためのアドバイザーの派遣を行う。	3,556	26市町村	成年後見制度の利用促進を図るため、これまで実施してきた研修会や講習会を引き続き開催するとともに、制度利用や体制整備の促進等を目的とした関係機関による会議の開催や、市町村等における体制整備を図るためのアドバイザーの派遣を行った。	D	中核機関は、市町村が地域の状況に応じて任意に設置するものであること、設置に当たっては職員や予算の確保が必要となる場合があることなどの要因が考えられる。
42	II-3-①	高齢者福祉課	認知症対策推進班	市町村に対し、カフェの運営事例やボランティアの活動事例を紹介し、認知症の人やその家族にとって、地域や住民とつながりや出会いの場となり、また、地域の人や専門家と気軽に集える場となる、認知症カフェの普及を推進します。	市町村数	49市町村	51市町村	52市町村	54市町村	51市町村	0	認知症カフェの普及	0	49市町村	認知症カフェの普及	B	
43	II-3-①	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症への関心を一層高めるとともに、正しい理解を深めてもらうきっかけをつくるため、街頭啓発運動やオレンジライトアップを実施します。 市町村に対し、事例紹介や普及啓発物資を提供し、県内各地で普及啓発活動が行われるよう支援します。	市町村数	44市町村	37市町村	40市町村	43市町村	37市町村	450	街頭啓発運動やオレンジライトアップを実施する。市町村に対し、普及啓発活動が行われるよう支援	362	48市町村	千葉駅や津田沼駅で街頭啓発運動を実施。千葉市ポータタワーや千葉県庁本庁舎でオレンジライトアップを実施。	A	
44	II-3-①	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症の人が日常生活で困った際に、周囲の理解や支援を求めるときのヘルプカードについて、活用事例等を市町村や認知症地域支援推進員、関係団体に周知し、利用を促進します。	市町村数	10市町村	24市町村	32市町村	40市町村	24市町村	0	ヘルプカードについて、活用事例等を市町村や認知症地域支援推進員、関係団体に周知し、利用を促進する。	0	10市町村	千葉県認知症施策推進セミナーを開催、計77人受講	D	研修等開催に関する周知不足
45	II-3-③	高齢者福祉課	認知症対策推進班	専門医療相談や、鑑別診断とそれに基づく初期対応、身体合併症、行動・心理症状への急性期対応、かかりつけ医への研修等を行うほか、地域の関係機関で構成する協議会を設置し、地域包括支援センター等との地域連携を推進します。また、診断直後の本人や家族に対する医療的な相談支援など日常生活支援体制を強化します。	鑑別診断件数	3,640件	3,650件	3,800件	3,950件	3,650件	54,970	3センター指定更新予定	56,180	4,208件	3センター指定更新	A	
46	II-3-③	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言・支援を行うとともに、専門医療機関や市町村及び地域包括支援センターとの連携の推進役となる認知症サポート医を、千葉県医師会と連携しながら養成し、各地域において、認知症の早期発見・早期治療等の医療体制の充実を図ります。 また、認知症サポート医による、一般県民向けの認知症理解のための講演会を開催します。	養成人数（累計）	635人	660人	690人	720人	660人	2,713	国立長寿医療センターが実施する養成研修の受講費用を負担する。	1,799	674人	長寿センターが年5回の研修を開催 千葉県33人、千葉県6人受講（内36人分の受講費を負担）	A	
47	II-3-③	高齢者福祉課	認知症対策推進班	複数の専門職が認知症と思われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、観察・評価を行った上で、家族支援等の初期支援を行う初期集中支援チームの拡充を図るため、チーム員を養成するほか、先進的事例の紹介等を行い効果的な活動に向けた支援をするとともに、チームの質の評価や向上のためのフォローアップ研修を実施します。	フォローアップ研修会 修了者数（累計）	415人	550人	650人	750人	550人	2,388	認知症初期集中支援チームの拡充を図るため、チーム員を養成するほか、先進的事例の紹介等を行い効果的な活動に向けた支援をするとともに、チームの質の評価や向上のためのフォローアップ研修を実施する。	1,319	506人	認知症初期集中支援チームの拡充を図るため、チーム員を養成するほか、先進的事例の紹介等を行い効果的な活動に向けた支援をするとともに、チームの質の評価や向上のためのフォローアップ研修を実施し、91人が参加した。	B	
48	II-3-③	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症の人やその家族の支援に携わる医療・介護・福祉等の専門職同士が、お互いの役割や活動内容を理解することで、多職種が連携を取り協働しやすい環境づくりを進めるための研修を実施します。	研修会参加者数	104人	160人	160人	160人	160人	816	研修会を2回実施	816	126人	研修2回開催 計126人受講	C	研修開催に関する周知不足
49	II-3-③	高齢者福祉課	認知症対策推進班	医療・介護・福祉等の多職種間の情報共有ツールとして、全県共通様式である「オレンジ連携シート」の普及に努め、多職種協働を進めます。	使用枚数	299枚 (令和4年度末)	550枚	-	650枚	550枚	0	「オレンジ連携シート」の普及に努める。	0	集計中	県HPによる周知		

千葉県高齢者保健福祉計画（令和6年度～8年度）事業進捗管理表【認知症施策関係】

資料1-4

掲載箇所	取組	担当課	(班)	事業内容	指標	現状値 (R5年度末)	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R6年度 目標値	令和6年度 当初予算額 (千円)	令和6年度 事業の実施予定	令和6年度 決算額 (千円)	R6年度 の状況 (現状値)	R6年度の 実施結果	R6年度 達成状況に関する 評価	令和6年度 ※C～E評価の場合、目標達成に 至らなかった理由	
50	II-3-③	認知症地域支援推進員及び千葉県認知症コーディネーターの活動の充実促進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症施策の推進役や専門職の支援者であり、関係者とのネットワークの構築や調整、地域資源情報の提供などを行う「認知症地域支援推進員」及び「認知症コーディネーター」の活動の充実に向けて、研修を実施します。	研修会修了者数（累計）	164人	260人	350人	440人	260人	2,448	認知症地域支援推進員及び認知症コーディネーターを対象に、「千葉県認知症地域支援推進員研修」を実施	2,202	240人	認知症地域支援推進員及び認知症コーディネーターを対象に、「千葉県認知症地域支援推進員研修」を実施	B	
51	II-3-④	病院勤務の医療従事者の認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	病院勤務の医療従事者に対し、認知症の人及びその家族を支えるために必要な基本知識、医療と介護の連携等について修得するための研修を実施し、病院での認知症の人の対応について適切な実施の確保に努めます。	研修会修了者数（累計）	4,810人	5,380人	5,780人	6,181人	5,380人	1,033	研修会を2回実施	242	5,117人	千葉県2回、千葉市2回の研修を開催、計307人受講	B	
52	II-3-④	病院勤務以外の看護師等の認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	病院勤務以外の看護師等に対し、認知症の人及びその家族を支えるために必要な基本知識、医療と介護の連携等について修得するための研修を実施します。	研修会修了者数（累計）	577人	620人	870人	1,120人	620人	571	研修会を1回実施	221	854人	千葉県1回、千葉市1回の研修を開催、計277人受講	A	
53	II-3-④	かかりつけ医認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症サポート医との連携のもと、高齢者が日頃受診しているかかりつけ医に対し、認知症診断の知識・技術や、認知症の人及びその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施します。	研修会修了者数（累計）	1,515人	1,630人	1,730人	1,830人	1,630人	863	研修会を4回実施	753	1,588人	千葉県3回、千葉市2回の研修を開催、計73人受講	B	
54	II-3-④	歯科医師認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	歯科医師に対し、認知症の基本知識、医療と介護の連携の重要性等を習得するための研修を実施し、認知症の疑いがある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理が適切に行えるよう、認知症の人及びその家族への支援体制の構築を図ります。	研修会修了者数（累計）	1,255人	1,350人	1,450人	1,550人	1,350人	804	研修会を3回実施	577	1,322人	千葉県3回、千葉市1回の研修を開催、計67人受講	B	
55	II-3-④	薬剤師認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	薬剤師に対し、認知症の基本知識、医療と介護の連携の重要性等を習得するための研修を実施し、認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた薬学的管理が適切に行えるよう、認知症の人及びその家族への支援体制の構築を図ります。	研修会修了者数（累計）	1,860人	2,050人	2,250人	2,450人	2,050人	804	研修会を3回実施	772	2,003人	千葉県2回、千葉市1回の研修を開催、計143人受講	B	
56	II-3-④	看護職員認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得するための研修を実施することで、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達し、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を図ります。	研修会修了者数（累計）	562人	755人	915人	1,075人	755人	1,870	研修会を2回実施	1,870	621人	研修1回開催、59人受講	B	
57	II-3-④	認知症介護実践研修の実施	健康福祉指導課	福祉人材確保対策室	高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症介護技術の向上のため実践的研修を行うことにより、認知症介護の専門職員を養成するとともに、研修に携わる指導者の資質向上を図ることによって認知症高齢者の介護サービスの充実に努めます。	研修の修了者数	368人	400人	400人	400人	400人	5,024	高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、実践者研修と実践リーダー研修及び管理者研修を引き続き実施する。	5,024	360人	千葉県高齢者福祉施設協会に委託し、研修事業を行った	B	
58	II-3-⑤	ちば認知症相談コールセンター	高齢者福祉課	認知症対策推進班	認知症の人やその家族への相談体制の強化を図るため、認知症介護の専門家や経験者等が対応する「ちば認知症相談コールセンター」を設置し、電話相談に加え面接相談に応じます。	電話相談・面接相談件数	1,387件	1,230件	1,270件	1,310件	1,230件	4,998	「ちば認知症相談コールセンター」を設置し、電話相談に加え面接相談に応じる。	4,998	1,494件	「ちば認知症相談コールセンター」を設置し、電話相談に1,487件に加え面接相談に7件応じた。	A	
59	II-3-⑤ II-3-⑥	家族交流会や若年・本人のつどいの拡充	高齢者福祉課	認知症対策推進班	介護者の精神面での支援や認知症介護技術の向上等を図るため、地域の実情に応じて、認知症の人が集まる場や認知症カフェなどの認知症の人やその家族が集う取組について市町村への普及を促進します。	①本人・家族交流会の参加者数 ②若年性認知症カフェの参加者数	①218人 ②93人	①300人 ②150人	①320人 ②160人	①340人 ②170人	①300人 ②150人	①1,000 ②7,663	認知症の人が集まる場や認知症カフェなどの認知症の人やその家族が集う取組について市町村への普及を促進する。	①1,000 ②7,663	①274人 ②106人	①地域包括支援センター単位で9回、全県対象で3回実施 ②県内4か所で8回開催（柏市、船橋市、松戸市、流山市） 述べ106人が参加	B	②C つどいの開催の周知不足
60	II-3-⑥	若年性認知症対策の総合的な推進	高齢者福祉課	認知症対策推進班	発症初期から終末期（高齢期）まで本人の状態に応じた適切な支援が行われるよう、自立支援のためのネットワーク会議や、関係者の研修会を開催します。 若年性認知症に関する実態調査の結果を踏まえた施策の充実に努めます。	研修会参加者数	267人	160人	160人	160人	160人	984	研修会を2回実施	360	207人	・産業界や労務管理者を対象とした研修1回、121人受講 ・介護従事者や市町村を対象とした研修1回、86人受講	A	

千葉県高齢者保健福祉計画（令和6年度～8年度）事業進捗管理表【認知症施策関係】

資料 1 - 4

	掲載箇所	取組	担当課	(班)	事業内容	指標	現状値 (R5年度末)	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R6年度 目標値	令和6年度 当初予算額 (千円)	令和6年度 事業の実施予定	令和6年度 決算額 (千円)	R6年度 の状況 (現状値)	R6年度の 実施結果	R6年度 達成状況に關する 評価	令和6年度 ※C～E評価の場合、目標達 成に至らなかった理由
61	II-3-⑥	若年性認知症支援コーディネーター	高齢者福祉課	認知症対策推進班	若年性認知症支援コーディネーターが医療・福祉・介護・就労の関係機関と連携し、若年性認知症の人やその家族、企業等の相談に的確に応じ、就労継続の支援も含め、生活全般をサポートします。	相談件数	297件	650件	650件	650件	650件	7,663	専用相談窓口に専任のコーディネーターを2名配置し、電話、面接、訪問での相談に応じる。コーディネーターが中心となり、若年性認知症の人が定期的に集まる場所の提供をし、社会参加が促進されるように支援を行う。	7,663	409人	電話243件、 面接・訪問166件	C	若年性認知症専用相談窓口の 周知不足